

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
進路選択	2 単位 日本語教育能力	日本語教授法Ⅲ	矢端 晴美	1 年次	秋

授業のキーワード	日本語教師 日本語学習者 模擬授業
授業の概要	日本語を実際に教えるために何が必要か学びます。日本語学習者の実像、日本語教師の実像、役割、仕事の内容、待遇、現場の声 について学びます。後半では受講生一人一人に教材分析、教案作り、教具の選択、模擬授業を通して、日本語を教えることを体験してもらいます。一人2回の授業を予定しています。
期待される学習成果（目標）	1. 実際の日本語の授業の方法を準備から学ぶことができる。 2. 実際に日本語の授業を体験することができる。 3. 日本語を学ぶ外国人学習者について学ぶことができる。

## 授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	日本語教師とは	現場の日本語教師の声から日本語教師の仕事の内容を把握する。	第9講	模 擬 授 業 (2)	日本語テキストに沿った日本語授業。教師体験
第2講	日本語学習者とは	多様化する日本語学習者を知る	第10講	模 擬 授 業 (3)	日本語テキストに沿った日本語授業。教師体験
第3講	模擬授業時に設定する学習者。	どんな背景、どんな目的で、日本語を学習するか、自分がどんな学習者になるか、決め、その国の言葉、文化を調べ発表する。	第11講	模 擬 授 業 (4)	日本語テキストに沿った日本語授業。教師体験
第4講	シラバスデザイン	初級日本語教科書「みんなの日本語初級 I」の課ごとの文型、語彙、表現を整理分析する。	第12講	模 擬 授 業 (5)	日本語テキストに沿った日本語授業。教師体験
第5講	サバイバル日本	日本で生活する上で、外国人が知っておくべき事柄（ごみの分別、お風呂の入り方、四季 など）について、まとめ、わかりやすい形でプレゼンする。	第13講	模 擬 授 業 (6)	日本語テキストに沿った日本語授業。教師体験
第6講	サバイバル日本その2	プレゼン	第14講	模 擬 授 業 (7)	日本語テキストに沿った日本語授業。教師体験
第7講	サバイバル日本その3	プレゼン	第15講	模 擬 授 業 (8)	日本語テキストに沿った日本語授業。教師体験
第8講	模擬授業（1）	日本語テキストに沿った日本語授業。教師体験	定期試験		
評価方法	プレゼン40% 模擬授業60%（授業の出来だけでなく、準備、実施、反省などから評価します）				
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
みんなの日本語初級 I 本冊 スリーエーネットワーク					